
参考資料:適応分野における指標の考え方

2012年6月4日

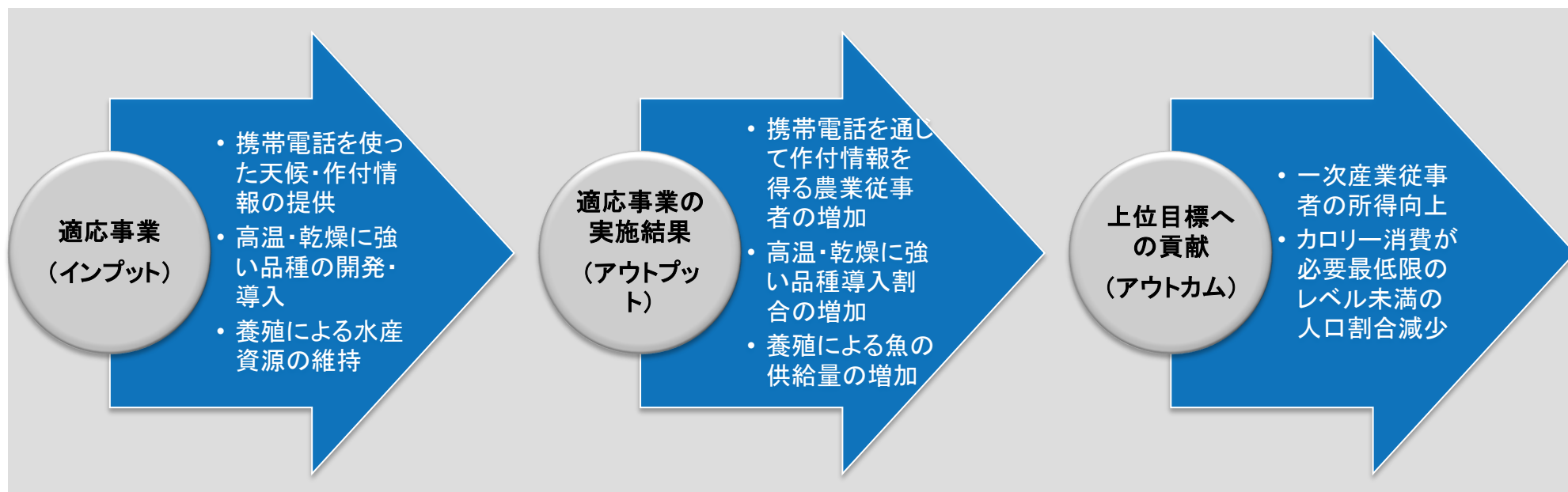
株式会社野村総合研究所
コンサルティング事業本部
公共経営コンサルティング部

〒100-0005
東京都千代田区丸の内1-6-5 丸の内北口ビル

適応策の指標は、途上国の開発計画への貢献を踏まえて策定されるべき。事業実施による成果の連鎖がわかるインプット・アウトプット・アウトカムのフレームワークが有用。

- EUの気候変動に関する途上国支援戦略が指摘するよう、「緩和」と異なり、「適応」の政策効果は個別的・地域的であり、一律の枠組みで測ることができない。
- 一方で、アフリカ連合が懸念を示しているように、個別事業に閉じた成果の評価では、貧困削減など途上国にとって重要な開発戦略にいかに関与しているかが不明である。
- このため、各適応策の実施(インプット)がどのような結果を対象者にもたらし(アウトプット)、それがミレニアム開発目標のような上位の開発戦略にいかに関与したか(アウトカム)を計測するかたちで指標を設定することが重要である。

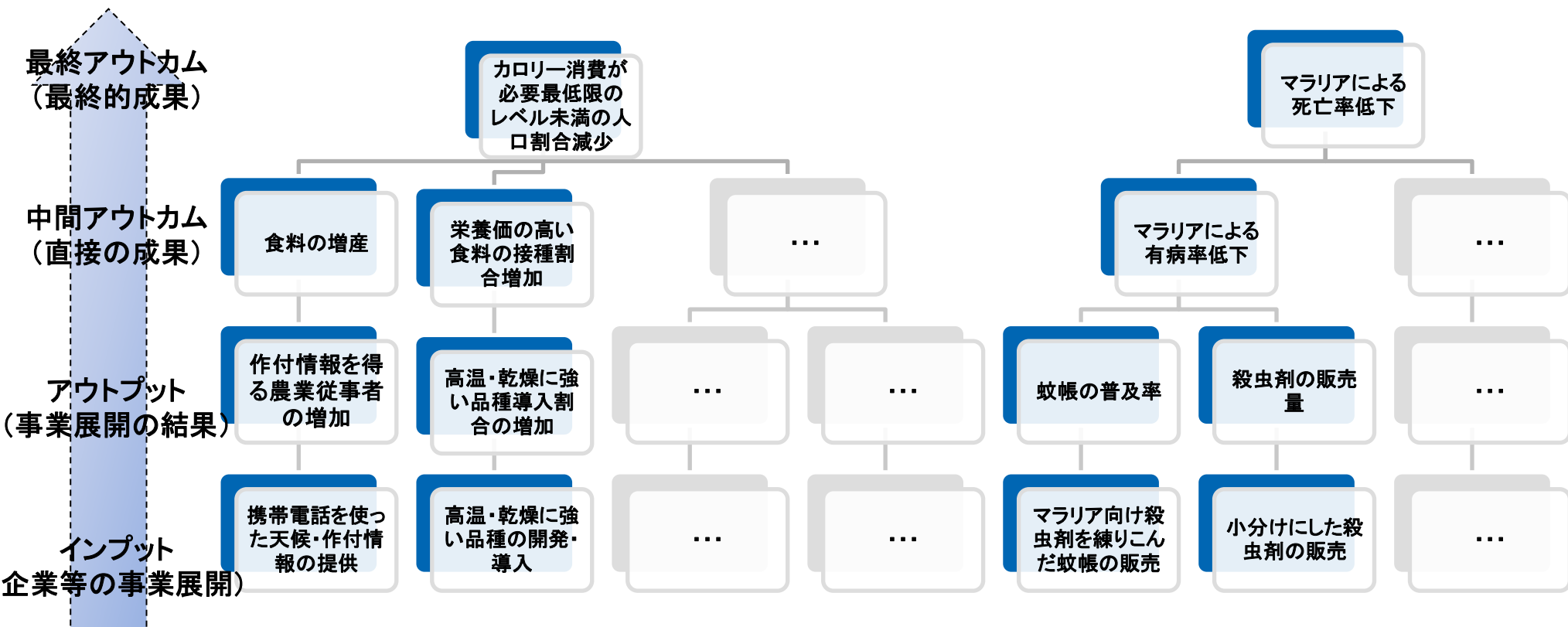
適応分野における指標設定のフレームワーク(農業・食料対策分野の適応策を例に)



インプット・アウトプット・アウトカムのフレームワークを指標策定に活用することで、我が国企業の事業展開による途上国への貢献を数値で訴求しやすくなる。

- 我が国企業による適応策関連事業も、上位の開発に貢献していることを示すことで、ビジネス展開にあたって現地の理解を得ることに役立つほか、日本の途上国への貢献のアピールにもつながることが期待される。

インプット・アウトプット・アウトカムのフレームワークを活用した指標策定の例



国別適応計画(NAPA)ではインプット・アウトプット・アウトカムのフレームワークで指標が設定されている例がある。これらの指標は適応分野のニーズを把握する上で参考となる。

アフリカ諸国による国別適応計画(NAPA)の指標例

適応分野	国名	プロジェクト名	インプット	アウトプット	アウトカム
食料安全	コモロ	干ばつにより適応可能な品種の導入	<ul style="list-style-type: none"> 干ばつにより適応した種や品種 	<ul style="list-style-type: none"> 干ばつにより適応した種や品種のための貯蔵所の設置 生産者を対象とするトレーニングの実施 食物関連の作物の生産の増大 	<ul style="list-style-type: none"> 食糧安保への貢献 貧困軽減 食料の輸入の減少
水資源	ウガンダ	コミュニティの水・衛生プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 開発パートナーとウガンダ政府両方の資金 人的資源 関連する物流・装置 	<ul style="list-style-type: none"> 国内トイレ普及率が49%から60%に増加 最低限の環境衛生サービスパッケージ 	<ul style="list-style-type: none"> 水と衛生に関連した疾患の減少と健康の改善 ウガンダのための社会経済発展の向上と持続
教育・能力構築	シエラレオネ	気候変動への適応のための、人材育成を通じた気象局の能力開発	<ul style="list-style-type: none"> 人的資源、材料、資金 	<ul style="list-style-type: none"> 気象／気候データの収集、保管および分析の改善 	<ul style="list-style-type: none"> 気象局が気象データの収集、分析、保管またはエンドユーザーへの普及のために、十分な数の気象職員を育成できていること
健康	シエラレオネ	モヤンバ地区におけるマラリアの監視とコントロール	<ul style="list-style-type: none"> 人的資源 資金 物的資源 	<ul style="list-style-type: none"> モヤンバにおけるマラリア感染の減少 殺虫剤で処理された蚊帳を入手できる人口の増加 	<ul style="list-style-type: none"> 人々がマラリアをより上手くコントロールできる 潜在的生産力を増加させ、より国家が健全となること
早期警戒システム	マラウイ	干ばつや洪水への対応	<ul style="list-style-type: none"> 設備や人的、金銭的、物質的リソース(車両やコンピューター等) 	<ul style="list-style-type: none"> 洪水マップや土地利用のマップ 早期警戒システム、予測システムの導入 	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動や潜在的な災害に対する法的フレームワーク

(出所)各国のNAPAより作成

http://unfccc.int/cooperation_support/least_developed_countries_portal/napa_priorities_database/items/4583.php

**他の先進国では適応の成果について指標を活用した把握はまだこれからの段階。
我が国ではJICAが包括的に適応分野に関する指標を検討している。**

■ イギリス

- イギリスは、指標による気候変動向けの援助効果の測定を試みようとしている
- ただし、本格的な指標の活用は今後としており、適応分野の指標については下記を例示することに留まっている
 - ・ 気候変動による影響に対して脆弱度合いが低い人々の数(女性や少女を含む)
 - ・ 保全されたいし喪失を免れた資産の価値
 - ・ 民間セクターのパートナーの支援提供メカニズムを通じて支援を得られた人の数
 - ・ 貧しい人々による気候変動のリスクの緩和及び適応の確保につながるセクターや国家計画の数

■ フランス

- 「適応策の成果については、共通の指標がなく、それぞれの種類の事業に特有の指標で計測される。フランス開発庁(AFD)としては、適応分野についても、より統合された形での指標の開発を目指している。」としている

■ 日本

- 我が国では、JICAによる「気候変動対策支援ツール／適応策」において、適応分野での指標が包括的に検討されている

国際機関によるものでは、世銀の国ごとの援助計画である「Country Assistance Strategy (CAS)」のモニタリング指標が、貧困削減などのアウトカム指標として参考となる。

- 例えばエチオピアを対象としたCASでは、「エチオピア持続的開発及び貧困削減プログラム (Ethiopian Sustainable Development and Poverty Reduction Program: SDPRP)」の指標とCASの進捗を測る指標をモニタリングしている。
- マラウイのCASも同様に「貧困削減戦略ペーパー (Poverty Reduction Strategy Paper: PRSP)」の達成にひもづいたアウトカム指標をモニタリング対象としている。

世界銀行によるエチオピア向けのCore CASモニタリング指標(「脆弱性の減少」部分の抜粋)

CASの柱	SDPRP/CASゴール	CAS進捗指標 (Progress Indicators)
脆弱性の減少	<ul style="list-style-type: none"> 食糧援助とその他のセーフティネットプログラムの向上 貿易ショックの観点からの脆弱性の減少 脆弱な地域のリスクの緩和と減少 HIV/AIDS撲滅プログラムの強化 環境問題への意識の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 食糧援助と資産保護向けのキャッシュ 輸出の多様化 慢性的な食料不安にある人々の数 HIV/AIDSに罹患している人の数 荒廃した土地の割合

世界銀行によるマラウイ向けのCAS結果フレームワーク(「長期的持続可能な成長」部分の抜粋)

PRSPの柱	SDPRP/CASゴール	CAS進捗指標 (Progress Indicators)
貧困者に所得獲得の機会を与える等	<ul style="list-style-type: none"> より競争的なビジネス環境 農業の生産性と収入の向上 自然資源の持続可能な活用(ムランジェ山) 	<ul style="list-style-type: none"> 電話線の密度の向上 タバコの供給網の向上 保護エリアの設定等

(出所)世界銀行「Country Assistance Strategy」(エチオピア及びマラウイ)